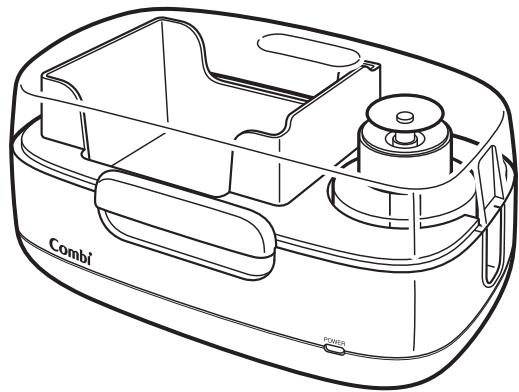


# コンビ お湯でコットンおしりふきLV

## 取扱説明書

**品質保証書付き**



本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについて、修理サービスが行えない場合があります。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■本書は大切に保管してください。

■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

### もくじ

安全に使用していただくために	各部の名称	3
△警告	ご使用方法	4
△注意	お手入れのしかた	6
ポンプ・ボトルのご注文窓口	こんなときには	6
製品の概要	仕様	7
製品の特徴	品質保証書	7

### 安全にお使いいただくために

- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示しております。安全のため必ずお守りください。

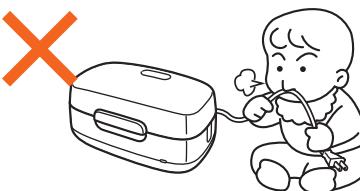
表示	表示の内容
△警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
△注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

### △警告

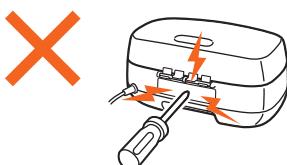
- お子さまの手の届くところに置かないでください。ヤケドなどの原因になります。



- お子さまが電源コードをなめたり、引っぱったりしないよう注意してください。



- 分解、修理、改造は絶対に行わないでください。



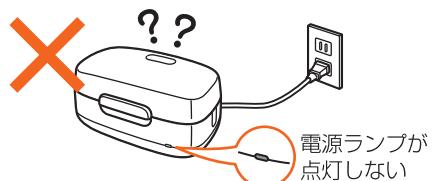
- 本体、電源コードを水につけたり、水をかけたりしないでください。



- 本体、ポンプボトル、電源コードに亀裂や破損があったり、故障した場合は使用を中止してください。感電や大きな傷害のおそれがあります。



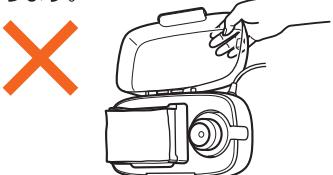
- 本体に異常があるとき(ランプが正常に点灯しないなど)は、すみやかに使用を中止してください。



- 電源プラグに付着したほこりは、定期的に乾いた布でふきとってください。



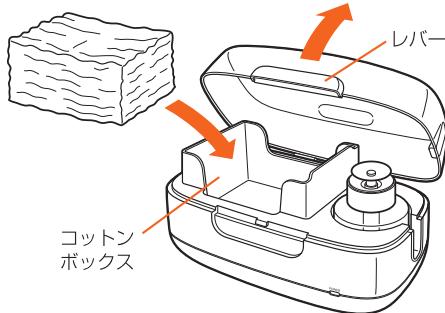
- フタを持って持ち運ばないでください。フタがはずれ、本体が落下するおそれがあります。



## ご使用方法

### コットンと適温のお湯を用意する

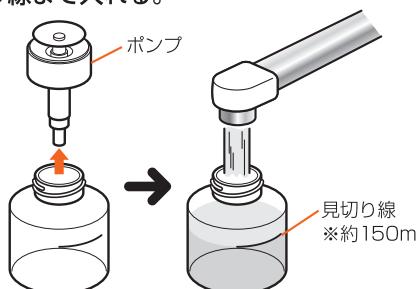
- 1 レバーを引いてふたを開け、コットン(市販品)をコットンボックスに入れる。



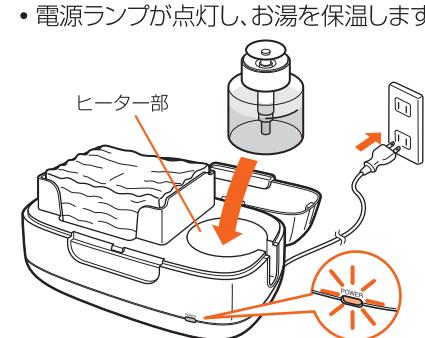
- 2 本体からポンプボトルを取り出す。



- 3 ポンプをはずし、適温のお湯(35~45°C: お風呂と同じ湯温)をボトル上部の見切り線まで入れる。



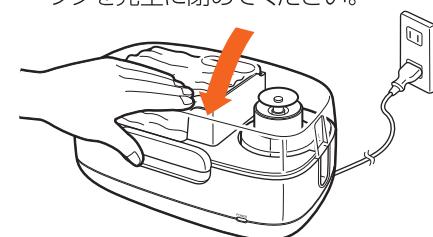
- 4 お湯を入れたポンプボトルをヒーター部に入れ、電源コードをコンセントに差し込む。



**△ 注意** 電源ランプの点灯を必ずご確認ください。

- 5 フタを閉める。

・フタを完全に閉めてください。



**△ 警告** やかんやポットなどから高温のお湯(60°C以上)をポンプボトルに入れないでください。ヤケドやポンプの故障の原因にもなります。

**△ 注意** カビや雑菌の繁殖を防ぐため、お湯は浄水器を使用せず直接水道から入れてください。また、沸騰済みのお湯や蒸留水、ミネラルウォーターは使用しないでください。

※給湯器がない場合は、別の容器に適温のお湯(35~45°C: お風呂と同じ湯温)を作ってからボトルに注いでください。

### おしりのケアをするときは

- 1 レバーを引いて、フタを開ける。

- 2 コットンを取り、コットンを持ったままお湯皿を3、4回押してお湯で濡らす。

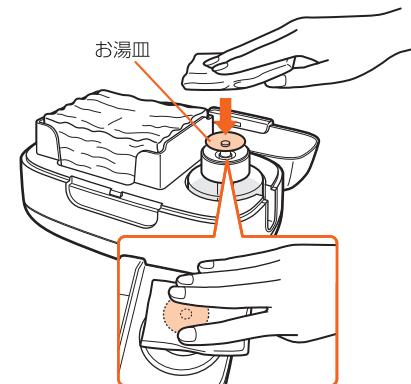
※おしっこやうんちの状態によって、コットンを濡らす湯量を調節してください。

※コットンを濡らすときには、コットンをお湯皿の上で移動させながら押すことで、すばやく濡らすことができます。

※つねに清潔なコットンを使用してください。

使用済みのコットンをお湯皿に戻さないようご注意ください。雑菌繁殖の原因になります。

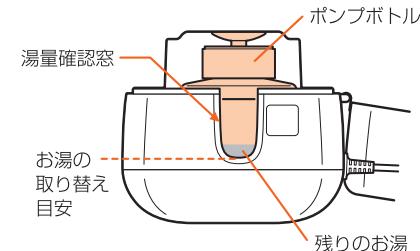
※ポンプの使い始めは、お湯が出てくるまで数回押す必要がありますが、故障ではありません。



※コットンを濡らす際はお湯の飛び散りを防ぐため、図のようにお湯皿の端を押すようにしてください。

### お湯を取り替えるときは

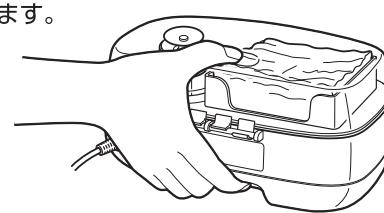
お湯は湯量確認窓の1番下より見えなくなったら取り替えてください。



**△ 注意** カビや雑菌の繁殖を防ぐために、お湯は毎日取り替えてください。

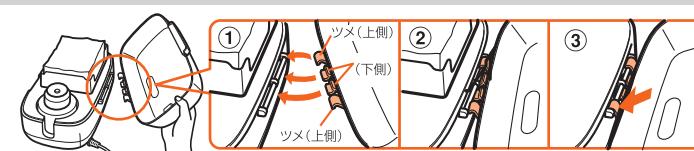
### 持ち運ぶときは

図のように、フタと本体後部のくぼみに指をかけ、本体をつかむように持ちます。



### フタがはずれたときは

図①～③のようにフタの上側のツメ(どちらか片方)と下側のツメを端から順に本体の軸にはめ込みます。



## ⚠ 警告

- 濡れた手で、差し込みプラグを差し込んだり、抜いたりしないでください。



- やかんやポットなどから熱湯をボトルに注がないでください。ヤケドの危険があります。



## ⚠ 注意

- 本製品はおしりふき用のお湯をあたためる以外の目的には使用しないでください。
- ヒーター部が約50°Cになっています。低温ヤケドのおそれがありますので、長時間触れないようご注意ください。(低温ヤケドとは、長時間あまり熱くない温度に触れたために赤い斑点や水ぶくれができる症状です。このような場合は専門医の診断を受けてください。)
- 火のそばに置かないでください。
- 不安定なところには置かないでください。倒れたり、落とするおそれがあります。
- 使用しないときは差し込みプラグを抜いてください。思わぬ事故や火災の原因になります。
- 電源コードを抜くときは、電源コードを持たずには必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆいときは使用しないでください。
- コットンパックスのサイズは、8×12cm以下です。サイズの大きいコットンは適当な大きさに切って収納してください。
- ポンプボトルは、お湯（35～45°C：お風呂と同じ湯温）以外のものを入れて使用しないでください。
- ポンプボトルを水から保温することはしないでください。

- 使用環境温度15～25°Cの範囲で使用してください。
- ポンプボトルを直火または電子レンジであたためることはしないでください。
- ポンプボトルを空のままで保温はしないでください。
- ヒーター部にお湯や水をこぼさないでください。
- ヒーター部とポンプボトルの間に、ゴミを付着させた状態で使用しないでください。
- ボトルには適温のお湯（35～45°C：お風呂と同じ湯温）を入れて使用してください。  
高温のお湯（60°C以上）を入れないでください。  
**ヤケドやポンプの故障の原因になります。**
- 見切り線（約150ml）以上にお湯を入れないでください。ポンプからお湯が出にくくなります。
- ポンプは消耗部品です。使用中の操作に異常（ポンプの戻りが遅いなど）を感じるようになら、ポンプの交換をおおすすめします。ポンプのご注文は下記をご覧ください。
- カビや雑菌の繁殖を防ぐために、お湯は毎日取り替えてください。また、ボトルとポンプは毎日水道水を使って洗浄してください。**  
**※浄水器や蒸留水は使用しないでください。**
- この製品は、必ず日本国内で使用してください。
- この製品は、必ず家庭用電源（AC100V）を使用してください。

## 仕様

### 本体（フタ含む）

主な材質：ポリプロピレン、ABS  
サイズ：幅246×奥行152×高さ121mm  
コードの長さ：1.8m  
定格電源：AC100V 10W  
電流ヒューズ：1A

### ポンプボトル（キャップ・お湯皿含む）

主な材質：ポリプロピレン  
サイズ：幅70×奥行70×高さ88mm  
容量（最大目盛）：約150ml

### その他

使用環境温度：15～25°C  
使用できるコットンサイズ：8×12cm以下

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシユーマープラザ（Customer Service Center）までご連絡ください。

コンシユーマープラザ（Customer Service Center）

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区鈎上新田271 TEL(048)797-1000 FAX(048)798-6109

コンシユーマープラザ（Customer Service Center）/西日本担当

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL(06)6942-0379 FAX(06)6942-0302

〈ホームページ上でのお問い合わせ〉 <http://www.combi.co.jp/cp/>

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>

